

講

評



日本歯科大学 教授
口腔リハビリテーション多摩クリニック
口腔リハビリテーション科 科長

田村 文誉 氏

最後に御発表及び会場からの質問等を伺いまして、感想となりますが、述べさせていただきます。

まず、口腔ケアはすごく大変なことと思いますが、良くなさっていると感じています。実際にはできる方もいれば苦労される方もいるのではないかと考えています。私どものクリニックでは、小さい年齢のお子さんも多くいらっしゃるのですが、お母さんたちはむし歯に1回してしまうとその後が大変だということで、熱心な方が外来にいらっしゃるんだということですが、以前にも増してすごく丁寧で熱心な方が増えてきていると思います。それでもどうしてもみがかないとか、口を開けられないとか、そうなってくるとむし歯が増えてきて、結局は全身麻酔で治療という方々も、何割かは、なくすことができない状況にあります。そうした方が成長されて、色々な施設を利用され、その場で口腔ケアを続けていくということで、本当に色々な努力をされて、素晴らしいと感じました。全体を通して、全てのところでおっしゃっていたのが、継続という言葉だったのですね。それがとても印象的で、続けていくということがいかに大切かということを通して述べられていたと思います。また、口の体操や口腔ケアをするのが、目的としては、おいしいものをおいしく食べられるようにということも共通していたように思います。口のケアや体操というのが手段であって目的ではなく、その先に食べるということがあるということを改めて教えていただいたと思います。

それぞれの御発表について、まず、あおとり日野の御発表について、やりたいことやれることを大切にということで活動されていますが、リサイクル事業だけでなく、口腔のケアなどもやれることを大事に、そして楽しく生活するためにお手伝いをしていくという形の関わりがすごく素晴らしいと思いました。

地域活動支援センター連^{れん}の御発表に関しては、私も自分が分からないこともたくさんあって、教えていた

だいた内容でした。また身体を動かしながらの健口体操ということが、口だけでなく全身も使いながら、口も元気にしていこうということを食べることを目標に（食べるだけが目標ではないと思いますが）なさっていることや、スタッフの方の関わりというものも教えていただいととても良かったです。

狛江活動センター ポンテの御発表ですが、印象的だったのは、地域の歯科医師会との連携やボランティアの歯科衛生士さんの支援がすごく結びついていて、地域の多職種との連携が良い形でなされていて、羨ましいと思います。また将来を見据えて、そうした関わりをしている、長期的な関わりをされているということで、大変勉強になりました。

なごみの里の御発表ですが、歯科医師の先生が施設長ということで、口のケア、早期発見早期治療が特色として掲げられていて、歯科的にも大切な部分がすごくとりあげられていると思いました。口唇の体操もルーティンで行っているということが、みがかだけではなく、機能の面でのメンテの関わりが充実されていると思いました。また新しいところができるということで、楽しみに思います。

檜原村福祉作業所ゆうあい館の御発表に関しまして、こちららも昼食後の歯みがきを最初から行っているということで、なかなかできないことだと思います。こちらの発表は、全て口腔ケアがされている発表でしたが、私どもも色々なところにお邪魔すると現実的には歯みがきできていないところも少なくはありませんので、そうした中で、きちんとした取組がされていると思います。訪問歯科衛生士さんが入っていたり、かかりつけ歯科医が同じ敷地にあったりということで、良い環境にあると感じています。どちらの取組も利用者のことを考えられて、職員の方が関わられているということで、聞いていて感動しました。

どうもありがとうございます。